

令和4年度第2回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和4年6月23日（木）
午後2時15分から午後3時00分まで

場 所 茂原市役所 市民室

出席者 委 員 16名

横山委員（代理：加藤）、鶴野委員、清藤委員、三橋委員、高山委員、浜田委員、
田中委員、平井委員、梅田委員、白土委員、渡邊委員（代理：成松）、下木委員（代
理：渡辺）豊田委員、渡邊委員、渡辺委員、金野委員

事務局 5名

都市計画課 石崎課長、川崎補佐、野村係長、市東主事、小関主事

会議内容（進行：川崎補佐）

1 開会 午後2時15分

要綱第7条第2項に基づき、出席委員16名で過半数に達しており会議成立。

2 会長あいさつ

3 議事

（1）デマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の利用状況について

<質疑>

委 員：デマンド交通・市民バス共にコロナの影響で売り上げが落ち込んでいる状況だが、
交通事業者の方々はどのような状況か。

委 員：JRについては7割程度の回復状況。

委 員：路線バスについては8～9割程度まで回復してきているが、高速バスについては5
割程度までしか回復していない。

委 員：タクシーについては6～7割程度まで落ち込んだ時もあったが、現在は8割強まで
回復している。

委 員：飲食店の時短営業が続いているところもあるので、完全に元に戻ったわけではない
が徐々に良くなってきている。

委 員：5月時点で82%まで回復している。乗務員の年齢が高いため、特に夜間に待機で

きる人数が少なくなってしまうというのが現状。

委員：8割程度は回復してきている。飲食店の夜間営業も徐々に増えてきており、依頼も多く来るのだが、新しい乗務員がなかなか入ってこないため受けきれないのが現状。

委員：それぞれの話を伺うと徐々に回復しているというのがわかった。高速バスについてはまだ回復していないようだが、旅行等も徐々に再開しているのでそれが良い方向に向かっていけばと思っている。国も交通事業者の方々からの要請を受けて支援等を行っている。市としても引き続き支援をしていきたいと考えている。

委員：報告事項について2点質問したい。運転経歴証明書所持者が割引になるということだが、表記を「運転免許返納者」にできないか。個人的な考えだが、免許返納者は今後間違いなく増えてくると思う。返納した後の不安を解消するのがデマンド交通だと思っているので利用者にわかりやすい表記にしたらどうか。

それと、市民バスの1便当たりの乗客数について報告があったが、北部コースが他のコースより少ないのは何か理由があるのか。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。1点目については今後、交通計画を策定する上で表記の方法についても皆様のご意見を伺いながら検討していきたいと考えている。

委員：運転免許の返納を推進していく上で、返納後はデマンド交通や市民バスがあるということ積極的に周知していくのも行政の役目だと思っている。新しい交通計画にも周知・PR方法の項目は盛り込むべきだと考えている。

事務局：2点目の北部コースの利用者が少ない件については、他の3コースは茂原駅を中心に運行しているが、北部コースは本納駅を中心としていることが影響しているのではないかと考えられる。1便当たり2人乗っていない状況なので、公共交通サービスの提供のあり方について考えなければならないと思っている。繰り返しになるが、新たな交通計画の策定の中でどのような方法が望ましいか、皆様の意見を伺いながら検討していきたいと考えている。

委員：回答ありがとうございます。地域の交通は地域で守っていく。持続可能という言葉がキーワードになっているが、市民バスやデマンド交通を運営していく上では地域の応援がないと持続させることは難しい。利用人員が少ないエリアがあるのであれば地域で盛り上げてもらい、公共交通を持続させるような方策をとってもらえれば他のエリアと同等の利用人員が確保できると思う。検討してみてください。

委員：茂原市の免許返納者は増加しているのか。

委員：横ばいの状況である。茂原市の交通事故の割合は県内の平均と比べて高齢者の割合が多い。車がなくても大丈夫だという環境を作ってもらえれば、もっと返納者は増えると思うので、警察としてもそういった活動に取り組んでいきたいと考えている。

委員：全国的には返納者は増加しているが、地方では車がないと移動手段がないという方々が多くいると思う。そういった状況も加味して地域ごとに適切な施策が行えるような交通計画を検討していきたいと思う。

採決の結果、全会一致にて承認

(2) 市民バス運行ルートの変更について

<質疑>

委員：明治橋の架け替えは予定通りか。

委員：はい。来週中に担当課が地元説明会を行う予定。工事看板等も設置する予定。工事期間についても説明があった通り、令和4年9月～令和7年3月を予定している。

採決の結果、全会一致にて承認

(3) 生活交通確保維持改善計画（案）について

委員：承認を受けたら国へ申請するという事で間違いないか。

事務局：間違いない。

委員：申請時期はいつか。

事務局：6月30日までとなっている。

委員：1ページ目の事業の目標の③について、950人以上を目標としているが根拠はあるのか。

事務局：デマンド登録者数は現在約800名おり、年間の新規登録者数は約50名となっている。新たな交通計画が施行される令和6年までの2年間の目標値として年間の新規登録者数×2年分の100名をさらに上回る目標値とした。

委員：750人の目標設定の根拠は記載されているが、950人の根拠の記載がない。計画書内で根拠もわかるように記載した方がよいのではないか。例えば65歳以上の1割が750人であれば、60歳以上の1割で950人以上を目指す等にした方がしっくりくると思う。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、根拠もなく950人という数字が出ているのはわかりにくいと思う。積算した根拠を記載したうえで国へ申請します。

委員：数字については、先程のデマンド交通の利用者の報告の中で、60歳以上の割合が77.4%という説明があったので、それを考慮すると60歳以上の1割とすれば

よい数字になるのではないかと直感的に思っただけ。根拠を記載してもらえばと思う。

事務局：ありがとうございます。

委員：先程わかりやすくという意見が出たが、国への申請に必要であれば修正してもらいたいが、そうでないのであれば事務局がバックデータとして持っていれば十分ではないか。限定してしまうのもあまりよろしくないと思う。

事務局：様式については国が定めたものだが、内容については根拠を記載する必要はないので、数字だけ記載して根拠はバックデータとしておくことで問題ない。

委員：国への申請は様式通りに、それ以外の会議の報告や公表していく性質のものは根拠を示していくということによろしいか。

委員：茂原市の交通計画の中で、特に地域の皆さんに育ててもらうものが交通の維持である。私はデマンド交通の登録者の増加を目標として考えている。そういったことを皆様で協議した中で一致した目標であるので、地域の皆様に示さなければならないと考えている。

委員：国への補助金申請は別として、数値目標については地域の方々が本当に必要としているかどうかを吟味して、周知したり、利用できるようにしてもらいたい。

委員：今後、新しい交通計画を策定していく上で、市民アンケートや利用者アンケートを通してニーズを把握していくということによろしいか。

事務局：はい。事務局としては、登録者数を増やすために努力しなければならないと考えている。現時点では広報・市ウェブページ・SNSを活用して周知を行っている。今後は、地元の方々との意見交換会も予定している。昨年、カインズホームに新たな乗降場所を追加した。大変好評をいただいております、交通マップがすぐになくなってしまうと連絡が来るほど。交通マップは公共施設・民間施設共に配布しているので、引き続き周知を図り、登録者の増加に努めていきたい。

採決の結果、全会一致にて承認

4 その他

なし

5 事務連絡

事務局：計画を策定するにあたり、調査業務の実施事業者を選定する必要があります。選定方法について、現在他市の状況を調査するなど、検討している状況です。当初、契約締結を7月上旬頃に予定しておりましたが、スケジュールに変更が生じます。

選定方法が決定しましたら、皆様にお知らせいたします。

最後に、事務連絡になります。本市では、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内の公共交通事業者様に対し、感染症防止対策及び事業継続を支援することを目的として、今まで3回、茂原市公共交通事業者支援金を交付してまいりましたが、この度、4回目の交付を予定しております。詳細につきましては、決まり次第、対象事業者様にご案内いたします。

次に、お手元に配布させていただいた前回の議事概要についてですが、内容を確認していただき、訂正等がございましたらお手数ですが、7月7日（木）までに事務局へご連絡をお願いいたします。

最後に、次回の会議開催時期につきましては12月下旬頃を予定しておりますのでご承知おきください。日程が決定次第、案内通知をお送りいたします。事務局からは、以上でございます。

6 閉会 午後3時00分